

# = Match Report =

平成29年度 栃木県高校総体兼第60回 関東高等学校サッカー大会県予選会

決勝

2017年 5月 14日 (日)

11:00 kick off 会場( 栃木県グリーンスタジアム )

さくら清修高校

vs

宇都宮短期大学附属高校

2

1 - 0  
1 - 1  
-  
-  
PK

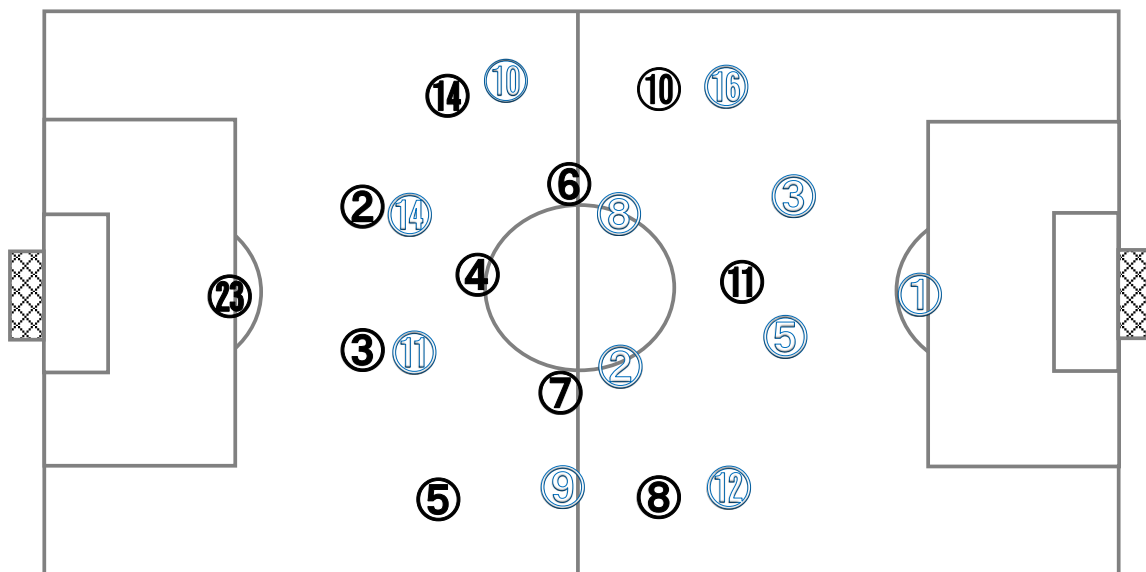
1

さくら清修

宇都宮短期大学附属

基本システム 1 - 4 - 5 - 1

基本システム 1 - 4 - 4 - 2



## 【Match Report】

連戦となった決勝戦。さくら清修、宇短大附属のシード勢対決となった。さくら清修1-4-5-1、宇短大附属1-4-4-2システムでスタート。序盤、さくら清修は高い位置からのプレスを選択し、宇短大附属のパスワークを封じることが成功する。攻撃時には④山岸⑥高橋⑦佐藤がミドルサードでの数的優位を生かし、前を向いてボールを受けてチャンスを窺うが得点には至らない。対する宇短大附属は左サイドで突破を試みるが、数的同数または不利な状況での仕掛けが多く、決定機を作り出せない。一進一退の攻防が続いていた36分、ゴール前20mで得たFKを④山岸が直接ゴール。さくら清修が先制し1-0で前半を終えた。

両チームともメンバー交代やフォーメーション変更は無く後半に入る。前半と同じ構図となるが、連戦の疲れから両チームの運動量が落ち始める。それに起因して間延びした状態が生まれ、互いのゴール前にボールが入る機会が増える。追いつきたい宇短大附属は、アタッキングサードでの仕掛けから左サイドで得たFKの流れで③栗原が押し込み同点とする。追いつかれたさくら清修は、その後も慌てることなく試合を進め、65分に⑧富田が右サイドからドリブルで持ち込み追加点をあげて突き放す。互いにゴール前での激しい攻防を繰り返すが、スコアは動かず2-1でさくら清修が勝利を収めた。

敗れた宇短大附属は、高いスキルをベースにボールを保持しようと試みたが、中盤の構成に改善すべき点が見受けられた。攻撃の威力は県内トップクラスであり、今後も磨きをかけて関東大会に臨んでもらいたい。勝利したさくら清修はチーム戦術の徹底ぶりが光った。守備におけるグループでの対応は素晴らしく、簡単には崩されないといった印象がある。攻撃時にはサイドで数的優位を作る試みを数多く見せ、好機を演出していた。両チームの関東大会での健闘を祈る。

記載責任者 所属( 今市高等学校 ) 氏名( 北村 真一 )